

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	とまり葬斎場改築事業	泊村	179,118,000	174,000,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称							
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	とまり葬斎場改築事業							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		泊村							
交付金事業実施場所		泊村大字茅沼村字北坂の上							
交付金事業の概要		とまり葬斎場解体・改築工事 葬斎場は、村民生活において、重要な人の死を弔うための場であり、公衆衛生上等により適切に儀式を行う必要があります。施設の老朽化により、利用者や火葬参列者に不快感などを与えてしまうため、公共の福祉増進のため解体・改築工事を実施致します。							
総事業費		179,118,000	<table border="1"> <tr> <td>交付金充当額</td> <td>174,000,000</td> </tr> <tr> <td>うち文部科学省分</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>うち経済産業省分</td> <td>174,000,000</td> </tr> </table>	交付金充当額	174,000,000	うち文部科学省分	0	うち経済産業省分	174,000,000
交付金充当額	174,000,000								
うち文部科学省分	0								
うち経済産業省分	174,000,000								
交付金事業の成果目標		とまり葬斎場は、昭和57年本村村民の公衆衛生、福祉増進のため建設されて以来、村で唯一の葬斎場として供用開始し、35年の長きにわたり稼働をしてきました。施設・設備の老朽化が著しい中で運用してきましたが、泊村総合計画に沿い、この度改築を行うこととし、人生の終焉の場に相応しく、そして周辺に配慮した環境に優しい施設とすることによって、地域住民の福祉の向上を図る事を目標致します。							
交付金事業の成果指標		本交付金事業によって成果目標を達成するためには、平成29年3月31日までに工事を完了し、4月1日までに通常の施設利用に復帰すると同時に、火葬需用に対応し、厳粛かつ衛生的な火葬業務の執行及び告別式等のための施設を提供することによって、地域住民の福祉の向上を図ります							
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、平成29年3月31日までに工事を完了し、4月1日に通常の施設利用に復帰すると同時に、火葬需用に対応し、厳粛かつ衛生的な火葬業務の執行及び告別式等のための施設を提供することができました。今後も、人生の終焉の場に相応しい施設として維持するとともに適正な排出ガス管理による周辺環境の保全を進めていくことと致します。							
交付金事業の契約の概要									
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方						
とまり葬斎場解体工事(解体工事)		指名競争入札	佐竹・茅沼特定建設工事共同企業体						
とまり葬斎場改築工事(建築主体)		指名競争入札	佐竹建設 株式会社						
とまり葬斎場改築工事(電気設備)		指名競争入札	有限会社 佐藤電機商会						
とまり葬斎場改築工事(機械設備)		指名競争入札	有限会社 マリノテック						
		計	179,118,000						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度						
該当なし									

(備考)(1)事業ごとに作成すること。

(2)番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3)交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4)交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5)交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6)交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7)成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載